

情報連絡一覧票 (石川県中央会・平成16年7月分)

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	パン・菓子製造業	連日の猛暑によって、2~3割売上が落ち込んでいる。
	調味材料製造業	醤油出荷量は、前月比、前年同月比ともにやや増加した。しかし、上半期(1~6月)の出荷量ではややマイナスで、依然として前年の水準を下回っている。
	パン・菓子製造業	7月1日の氷室の日に金沢市内を中心に販売する氷室饅頭は、昨年より売上が僅かばかり伸びたが、中元用の菓子販売は停滞気味だった。
繊維・同製品	その他の織物業	厳しい状況が続き、先行き不安感が増している。
	織物業	絹分野では信用不安による売れ行き悪い状況が続く中、日本文化の見直し、きものへの感心が高まりを見せ、需要拡大が期待されるが、多品種、少ロットの発注に終始し、また平成17年1月1日より絹織物の輸入が自由化され、これまで停滞気味であった中国和装生産が、再活発化の動きも見られるなど不安材料が多く、厳しい採算性で推移している。合繊分野では、デザイン性のあるインテリア、極細分織織物など差別化衣料で好調なものも点在し、提案企画品の注文があり、生産量増回復傾向はいくらか見られるようになってきているものの、強い低コスト要請や開発費の増大などにより、採算性の改善には至っていない。高度成長を続ける中国への高付加価値差別化織物の輸出が期待される。しかし国内衣料需要は依然として低迷が続く、当産地の業況は厳しさが続く見通し。新商品開発に伴う設備の改良は見られるが、新設備投資計画は極僅かなものになっている。
	ねん糸製造業	一部仕掛品種、用途によって発注量の大幅ダウンが見受けられる。福井の水害において機屋、染色等にもたらした被害も多大であり、その影響もあると思われる。復旧において9月一杯かかる見通し。又メーカー、商社において一部決算期(9月)を迎えることから在庫整理か。
	その他の織物業	7月度は、前月比20%程度の売上落ち込みとなった。例年は、7月がピークに達し、8月、9月が大幅な売上の落ち込み傾向があったが、今年は「谷」が早く来るのか、あるいは、違った傾向を描いて進むのか予断を許さない。また、組合から2社脱退という結果を招くこととなった。
木材・木製品	製材業、木製品製造業	良質材の入荷減。例年同様「アテ」材入荷減。
	製材業、木製品製造業	7月度は、退職者の補充も済み、新人の仕事への慣れを待つ状態である。新築住宅需要は、依然多く、年内入居に向けての受注が県内はもちろん全国的にも集中して出ているようである。当組合の状態は、キャパを超えた需要による、外注に頼らざるを得ないところまでになっていて、相当の苦勞を強いられている。
窯業・土石製品	砕石製造業	7月の組合取扱い出荷量は、対前年同月比生コン向け16.9%、アスファルト合材向け3.8%、全体量で15.4%それぞれ減少した。前月までよりは減少幅がわずかに改善されているが、この先の見通しは厳しく、協業化・集約化を更に進めて行かざるを得ない現状にある。
	陶磁器・同関連製品製造業	9月の産地見本市開催へ向け、連日担当委員会にて企画、準備を進めている。平行してJAPANブランド事業として、10月の景德鎮での博覧会や来年1月末のパリでのメゾン&オブジェへ向け、商品開発等を含め準備を進めている。
	生コンクリート製造業	県内の生コンクリートの出荷状況は、7月末現在で前年同月比約90%で、4月から7月の累計でも約80%と前年同期に対し低調に推移している。その中で、民需が多少明るさが出てきた状況である。
	粘土かわら製造業	梅雨期の雨量が少なかったのと新築も多くなり、昨年同月より約10%出荷量が上がる。
鉄鋼・金属	一般機械器具製造業	一部の企業では、月間2億3000万円位がピークであるにもかかわらず、4億円の受注が入っている。協力工場をいくら増やしたとて追いつかず、悲鳴を上げている。
	鉄素形材製造業	業況は前年度に引き続き安定はしてきているものの、ここにきて若干低迷し、前年比5%強の減産となっている。要因としては、繊維機械の減産等が考えられるが、企業格差があり、前年に引き続き好調というところも多い。原材料の値上げからの製品価格の値上げ要求も、ユーザーに理解され値上げを認められたところも多くなっている。しかし、経営内容は厳しく、より品質の向上が要求され、製造不良発生が命取りになることもあり、技術力の向上が、今後を左右している。
	鉄素形材製造業	今年に入り原材料等(鋼材)の値上り並びに品不足が生じていたが、次第に改善されてきているようである。例年通り7月、8月は夏期休日及び盆休により稼働率は低下するが、総じて景況は横這い又は緩やかなる上昇気運と思われる。
	機械器具の生産	今年に入ってからの仕入れ材料の高騰から、採算性が余り良くない

情報連絡一覧票

(石川県中央会・平成16年7月分)

一般機器	機械、機械器具の製造又は加工修理	依然として材料費、石油価格の上昇があり、好況感に水をさしている状況下にある。中国でインフレ引締めがあり、県内企業で若干の製品製造の減産傾向も見受けられ、昼夜残業で対応していた下請企業に一服感が見られる。9月に米国シカゴで工作機械の世界的なショーが開催される。石川県からは工作機械メーカーであるN社、T社が出品。今後の海外輸出動向が期待されることである。工作機械に関しては、旺盛な自動車産業の下支えで好況である。国内向けには11月1日～8日まで「JIMOTOF2004」の開催が東京ビックサイトで開催される。国内工作機械の動向がこれで決まる。
	繊維機械製造業	当組合の主要得意先である繊維機械メーカーの生産は、暫くスローダウンが続くそうであるが、他の業界（建設機械、工作機械、専用機等）が非常に忙しいため、組合員は皆フル操業が続いている。自動化、ロボット化が難しい仕事をしているところは増え続ける受注残の消化に苦心しているが、人の採用にはなかなか踏み切れないでいる。技術力、技能を身に付けた人がいないためである。
	プレス、工作機械	自動車関連の好況により、鍛圧工作機械の受注が堅調。7月度は鍛圧機械主要4社の受注額は、対前年比16%伸びであった。また、現状の割合状況からみても、当面この堅調さが継続する見込みである。しかしながら一方では、鋼材の値上げと入手困難は一層顕在化し、発注元との連携した対応が必要になってきている。
	機械金属、機械器具の製造	建設機械や工作機械を含む製造設備関連業界の活況に懸引されて、高い操業度、売上増を維持している。一方もう一本の柱である繊維機械関連の売上は、前年同月比で25%減と大きく後退しており、先引き期待も厳しさを増している。これは、中国経済の「金融引締めによる設備投資の停滞」が影響しているものと思われ、他業界への波及が懸念される。
その他の製造業	漆器製造業	近代漆器業界の市場は依然として悪化が続いている。今期も夏枯れで漆器全体が落ち込む時期であり、この影響も多い。量販店向けも同じである。伝統漆器も依然として回復の兆しがなく、夏期の漆器全体が落ち込む時期で販売が極端に減少している。更に原材料の値上げがあって、採算性が悪化している。外国の廉価な木製品も売れ行きが頭打ちで、更に夏期の位置込み時期に向かっており、販売の減少が続いている。全体に前年対比10%減で、漆器業界全体が低迷しており、回復の速度が遅い。

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	繊維品卸売業	組合にいと、前月より悪いという話しか聞かれない。信用情報を参照しても、絹織物は、和洋装ともに苦戦している。合繊は、インテリアに一部活路を見出している。
	一般機械器具卸売業	酷暑が続き、住宅用エアコンの販売が好調です。電材業界では、新築需要が中心ですが、昨年の10%増くらいが見込まれます。価格的にも新冷媒(フロンなし)は値崩れしていません。旧冷媒(フロン使用)はもう市場には無くなりました。特定のメーカーで海外生産中心のメーカーは、部品の供給などが間に合わず、品切れを起こしています。この夏場商戦で年間需要の50%の9000台を販売出来そうです。
小売業	燃料小売業	6月に原油価格はピークと比較すると少し下がったが、イラクのパイプラインの爆破テロ、ナイジェリアのスト、ロシアの石油大手ユコス経営危機、米国の原油在庫減少などの要因が重なり原油市況は反騰している。このような状況にもかかわらず、セルフSSを中心として安値店で価格は軟化。初旬からの猛暑到来で車のエアコンがフル回転し、燃費効率は悪く、需要に拍車をかけている。
	機械器具小売業	前月度の地域店伸び率は111%であった。7月度も引き続き好天に恵まれ、RA・冷蔵庫の夏物商品に加え、洗濯乾燥機・IHクッキングヒーター等の白物家電品やPDP・液晶TV・DVD等のデジタル家電品も好調に売れており、地域店売上も110%以上伸びた模様。但し、RAでは2.2KWタイプを初め商品の品切れが出ており、今後の売上高への影響が心配な状況になっている
	男子服小売業 婦人・子供服小売業	昨年は10年に一度の低温であったが、本年は一転して猛暑となり、肌着、Tシャツ等々夏物軽衣料関連商品は、久方振りに順調な売上を確保した(昨年比118%)
	鮮魚小売業	高温多湿の気候状況は、人間の食欲減退を催す。但し、土用の丑の日「うなぎ」が例年の2割増の売れ行きだった。食中毒が多発する季節、県の保健福祉課から注意報が発令された。当組合員関係でも発生、対応に追われる。人の生命に係わる事案。注意してもし過ぎることはない。それでも毎年何件か起きる。他を見て自分の戒としたい。
	他に分類されない その他の小売業	新潟、福井の大雨も全国放送され、北陸のイメージダウンがあった。観光客は少なく、苦しい状況である。
	百貨店・総合スーパー	7月の売上実績160,535千円。予算費85.5%。前年比92.7%と先月に引き続き良くなかった。原因の一つとして高額商品を扱っている店舗の売上減が大きな原因であると思う。また数字が良くなかったのは、月の20日以降で前年は8/23にサマーリアランスというタイトルで最終バーゲンのチラシを出したが、今年は出さなかったのが原因の一つかもしれない。部門別前年比として、ファッション92.3%。服飾85.7%。生活雑貨93.2%。食品99.3%。飲食101.5%。サービス85.4%。個展別前年比達成店舗は14店舗でした。
米穀類小売業	米小売業の販売量の低下なのか、ご飯ものの加工食品「セット米飯」が好調のようである。風味を損なわないよう無菌包装されたご飯と具材がセットで販売され、電子レンジで温めるだけの商品。メーカーによれば、前年比の売上率は2桁の伸びを続けているという。セット米飯は2000年ごろから人気が出始め、働く女性	

情報連絡一覧票

(石川県中央会・平成16年7月分)

製 造 業		小教が景小ソル来	増の増加を背景にした調理の簡便化志向の流れに乗り、現在は「100億円市場」と言われている。工夫を凝らした商品を続々投入してきたことが、ヒットを支えた要因と思われる。
	商店街	近江町市場	景気好転といえども実感なし。
		尾張町	厳しい暑さの中で、街行く人々が途絶える中で、商況も途絶えがちに見られるようです。けれど、底打ち感があり、何か地に足が着いているかのような……ところなしか安定感を覚える月でした。ただ、台風の接近が予測できない事柄であり、来月もその辺がどのように景況に左右して来るのか、天だのみの状況か
	サービス業	旅館、ホテル	政府、日銀等は景気がやや上昇していると言っているが、地方における我々宿泊業界への消費増にはつながっていない。昨年は、7～8月の夏休み期間は、予約で80%程度であったが、今年は各組合員は約60～70%の予約になっているとのことであり、大変厳しい状況が続いている。一般的には、遠出して宿泊するような余裕が見受けられない。こうしたことから、近隣への日帰りが多いものと思われる。
		旅館、ホテル	昨年比ベースで推移（プラス）してきたが、6月、7月にきてプラス傾向が鈍化している状況になってきた。夏と南加賀のイメージが薄れてきている。参議院選の影響も受けているように思われる。
		自動車整備業	継続検査対象車両数は、前年同月比0.7%減、前月比では10.6%増。新規登録車両は、前年同月比2.4%減、前月比では15.6%増で推移している。
		洗濯業	需要状況も良く横這い。前年より下回っているところもあるが、これまでのような悪さではなく、やや食い足りない…との感触で、少し明かりもある。
	建設業	一般土木建築工事業	建設工事の受注高は、前年同月比0.8%の減となった。内訳としては、民間土木30.1%の増、民間建築14.7%の減となり、民間としては8.9%の減となった。公共土木1.8%の減、公共建築は27.7%の増となり、公共としては5.1%の増となった。
		鉄骨・鉄筋工事業	稼働率70%。応援状態も組合員間で調整をしているが、休む間が出来た。
		板金・金物工事業	仕事量は増加しているが、低価格なので収益面が悪い
	運輸業	一般貨物自動車運送業	7月は地元建機メーカーの出荷が好調であり、夏期休暇返上で稼働していたようであるが、建設関連のダンプは依然として稼働率が低い中、軽油価格が高騰してきており、いかにして運賃に転化していくか等、資金繰りも含め非常に厳しい状況の中、業界の今後について頭を悩ませている経営者が多く見受けられるようである。
		一般乗用旅客自動車運送業	全国的な業界の傾向として、昨年1年間の事業者の死因は、自殺者が1.1%（昨年比）増でトップとなり、その次は肺がん、肝臓がん、心筋こうそくの順であった。4月5月の実績を比較すると、実車km10%減。実車率99%で1%減。輸送回数93%で7%減。輸送人員94%で6%減。営業収入96%で4%減、1日当り11,740円（平均）と相変わらず減少傾向に歯止めがかからず、大変厳しい状況である。
		一般貨物自動車運送業	記録的な猛暑の影響が季節商品の荷動きが活発で、運賃収入は増加している。春先から低迷していた建設運輸（ダンプカー）は、当月の中旬より正常な運行状況になってきたが、何時まで続くか未知数である。燃料価格は高値に張り付いたままで運送コストが高み、フル回転で操業していても収益には繋がっていない。